

「東京都北区新庁舎建設基本構想(案)」パブリックコメント実施結果

「東京都北区新庁舎建設基本構想（案）」に対するパブリックコメントに寄せられた「ご意見の要旨」と「区の考え方」について、以下のとおり公表いたします。多くのご意見・ご要望をお寄せいただきありがとうございました。今後の検討の参考とさせていただきます。

意見提出期間 平成23年12月20日～平成24年1月25日

案の閲覧場所 総務課窓口、区政資料室、地域振興室、区立図書館、区ホームページ、
北区ニュース特集号（12月20日発行）

意見等提出者数 18名

（内訳）窓 口：3名

郵 送：3名

メ ー ル：5名

ファクス：0名

区ホームページ：7名

意見件数 80件

- ・ご紹介するご意見は、プライバシーの関係上、いただいた住所、氏名は掲載いたしません。
- ・ご意見は、一人の方から複数のご意見をいただきましたので、項目別に要旨としてまとめさせていただきました。

1. 新庁舎建設の背景

●ご意見・要望の件数

| 新庁舎建設の必要性について 2件 | |
|--|---|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・必要な耐震など老朽化や安全については、何か違う手段を用いても、もっと早急に対応すべきだ。 ・分散、狭あいなどのサービス面の改善も何か他の対応ができるはずだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎が建設されるまでの間につきましても、現在の課題等に対し、可能な限り改善していくよう今後も取り組んでまいります。 |

2. 新庁舎の基本理念

●ご意見・要望の件数

| 基本理念について 3件 | |
|--|---|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルは「新しい建物」である必要は全くない。 ・古い建物を再生させる、分散しても質の高い公共サービスを提供するなど、新しい区役所の価値観を北区が提供することこそシンボルになると思う。 ・どこでも言われる当たり前の事で漠然としている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「北区のシンボル」とは、必ずしも建物の大きさや形などの「見た目」を指すのではなく、本構想案では北区らしさのイメージの象徴、区民が愛着を感じる庁舎、としています。今後の検討の中でも、北区庁舎にふさわしい「シンボル」について更に検討を進めてまいります。 ・本構想における「シンボル」の意味につきましては、更に説明を加え、わかりやすい表現となるよう工夫いたします。 ・基本理念は、この構想の根本的な考えを示すものであり、概念であるため、漠然としている面はあろうかと思いますが、ご理解いただきたいと思います。 |

| めざすべき庁舎像について 15件 | |
|---|--|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| 「安全・安心」の拠点となる庁舎 3件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を踏まえ、基本構想は防災拠点を中心的考え方とすべきだ。 ・区の防災拠点を統合し、国や都の拠点と直結。 | <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を経験し、災害時における庁舎の役割の重要性については再認識したところだ。そのため、「めざすべき庁舎像」「備えるべき機能」などの本構想案各項目に「安全・安心」や「防災拠点に関する事項」等を冒頭に掲げております。今後の基本計画策定の中でも、区の防災拠点として国や都と円滑に連携できるよう検討を深めてまいります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・8ページ11行目の「耐震性に優れ、災害に強い庁舎をめざします。」に“エネルギーが確保される”を追加して、「耐震性に優れ、<u>エネルギーが確保される</u>災害に強い庁舎をめざします。」にしてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時において、必要なエネルギーが確保されるということは、防災拠点機能として不可欠であると考えます。本構想案における「災害に強い庁舎」とは、災害時にも行政サービスが継続でき、防災拠点機能が発揮できる庁舎です。従って「災害に強い庁舎」とは、エネルギーの確保が大前提であり、ご提案の意味も含まれているとご理解いただきたいと思います。なお、具体的には基本計画策定の中で検討してまいります。 |
| 環境に配慮し長持ちする庁舎 3件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した土木建築構造がよい。 ・地下は有料駐車場、窓際は廊下に採光を取り込み、フロアは間仕切りのない維持管理運営に経済効率のある庁舎がよい。 ・一棟集約化と最先端技術、未来構造の高層建築がよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は、「環境共生都市」にふさわしい環境対応の建物とし、建設費や管理運営費などライフサイクルコストの低減化を図って、長持ちする庁舎をめざしています。間仕切りのないオープンなフロアを基本としていますが、「廊下に採光」「有料駐車場」「高層建築」などのご提案は、今後策定していく基本計画や設計の中で検討してまいります。 |
| 区民に開かれた庁舎 2件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・情報館、区民館、美術館などとの複合施設がよい。 ・荒川など水辺緑地に沿う公園庁舎がよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの方々に親しまれ、時に、憩いの場ともなる庁舎をめざすべき、というご提案と受け止めました。誰にでも「開かれた庁舎」で、誰もが「訪れやすい庁舎」とするために、どのような機能や設備が必要か、今後も様々な視点から検討を進めてまいります。 |

| | |
|---|---|
| 北区のシンボルとなる庁舎 7件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・内容が非常に抽象的である、北区ならではのものが全く見られない。 ・「北区のシンボル」となるとしたら、企業のオフィスのような無機質な高層ビルは避けてほしい。 ・他自治体の地域の風土に合った建て方を参考にしているかどうか。 ・北区住民以外からも「北区の庁舎が見たい！」と見学に訪れるような建物がよい（豪華なつくり、という意味ではない。） ・美観、象徴性は二の次。 ・新庁舎を北区のシンボル庁舎となるようにすべき。 ・北区のイメージ構築を基幹として、全国に発信できる新庁舎を期待します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をいただきましたように、新庁舎は豪華さや華美なものを求めることなく、一方で無味乾燥、無機質なハコモノではなく、北区らしさが感じられ、区民の皆さまが、愛着を感じ、心の拠り所となるよう目指しています。 今後の検討に際しては、他自治体における新庁舎など、様々な先進事例を十分に参考にまいります。 また、本構想における「シンボル」の意味につきましては、更に説明を加え、わかりやすい表現となるよう工夫いたします。 |
| 備えるべき機能について 9件 | |
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| 共通機能 2件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量を削減し、CO2排出量削減のため、太陽熱利用や太陽光発電等の再生可能エネルギーを促進することを提案する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本構想案では、共通機能として環境対応を掲げ、基本機能として、災害時にも行政機能が十分に発揮できる施設となるよう、防災拠点機能を掲げています。ご意見を踏まえ、環境側面とともに、危機管理の観点からも配慮された、最新の技術や設備について、今後も調査研究を進めてまいります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・行政再編等様々な変化に即応適応する庁舎がよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内は仕切り壁のないオープンなフロアを基本とするなど、将来の業務量や業務内容の変化、職員数の増減などに対応できる柔軟性に富んだ機能の導入をめざしています。本構想案では「柔軟に社会情勢や区民ニーズに対応できる庁舎」としてまいります。 |

| | |
|---|--|
| 防災拠点機能 5件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・北区の防災拠点となるよう安全、安心の観点から耐震安全性を高めることは必要だ。 ・東日本大震災を経験して、庁舎は区民を守る行政のトリデとして天災や天変地異にも揺るがない存在でなければならない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎は、来庁者等の安全を確保するため、暫定的な耐震補強工事を実施しています。しかし、ご意見のように、「区民を守る行政のトリデ」として存在するには不十分です。新庁舎においては、皆さまの安全・安心を確保し、防災拠点として十分に役割が果たせる建物とすることを目指しています。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に確実に機能する電源設備として、ガスコージェネレーション等の導入を提案する。 ・新庁舎建設時には、ガスの安定供給が継続できる中圧ガス導管の引き込みを提案する。 ・防災拠点となる庁舎とするため、電源の二重化及び、燃料が確保できる発電設備の導入を検討してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に防災拠点として、十分な役割を果たすための設備機器や、環境側面にも留意した最もふさわしいエネルギー源の導入について、ご提案を含め、今後検討してまいります。 |
| 区民サービス機能 2件 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・現在の庁舎は、担当部署が一カ所にまとまっていないため区民に大きな負担をかけている。これからの庁舎は一カ所に部署をまとめ、窓口を集約することだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の分散は、現在の庁舎における解消しなければならない課題のひとつとして、本構想案にも掲げているところです。新庁舎は、「人にやさしい庁舎」として、総合窓口化による便利で利用しやすい庁舎をめざしています。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・夜間開庁は「区民に開かれた」という理念や庁舎像実現には不可欠であり、エネルギー効率を上げることによって対応してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「区民に開かれた庁舎」とは、誰もが気軽に訪れることができ、親しまれる庁舎をめざしたのですが、ご意見を参考にし、ソフト、ハード両面から、今後の検討の中で、他自治体の夜間開庁や利用実態なども研究してまいります。 |

3. 新庁舎の規模及び立地条件

●ご意見・要望の件数

| 新庁舎の規模の考え方について 3件 | |
|---|--|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 広さは、今使用している面積で十分。 ・ 庁舎面積約33,000㎡の場合、何階建になるか具体的に示してほしい。 ・ 庁舎面積は、現在の様々な課題を解決するためには、想定面積より余裕のある施設とすべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 来庁者の待合いスペースやプライバシーに配慮した窓口及び相談場所などの不足はもとより、現庁舎が建設された約50年前に比べ、区が行っている業務が飛躍的に増加していることなどから、庁舎の狭小は大きな課題と認識しています。 ・ 建物の高さや規模は、敷地や建築条件によって異なるため、建設候補地が確定した後、お示しできるようになってくると存じます。 ・ 庁舎の必要面積は、想定できる様々な状況の変化等を踏まえ、基本計画策定時において、さらに精査していきます。 |
| 望ましい立地条件の概要 10件 | |
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎は駅に近い方がよい。(2) ・ 新庁舎は駅に近く、駐車場があることが条件だ。 ・ 北区は面積が狭いので、交通や人口、行政の場所にこだわる必要はない。(2) ・ 防災拠点の観点から見ると、高台に関しては地盤が強固であり、高層建築にも最適な土地柄と考えられる。 ・ 飛鳥山と対向して、台地状の多層階構造とし、庁舎を中心とした複合施設を提案したい。 ・ まちづくりの視点が必要であるが、本構想案では「調査事項」の羅列しかなく、基準のようなものが示されていない。 ・ 徒歩や自転車でのアクセスに「幹線道路との距離」は無関係ではないか。 ・ 区役所を駅近に持ってくる意味がわからない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、建設候補地選定にあたっては、本構想案に掲げた、望ましい立地条件の検討項目「防災拠点」「利便性」「まちづくり」「事業の実現可能性」に沿って、検討を進めてまいります。検討の際は、いただいたご意見を参考にさせていただきます。 ・ 立地条件検討項目の調査事項は、数値などで表す判断基準ではなく、めざすべき庁舎像を実現するための望ましい立地条件について、どのようなことを調査すべきか、を記載したものですので、ご理解いただきたいと存じます。 |

※ () 数は同意見件数

4. 事業概要

●ご意見・要望の件数

| 事業手法の考え方 1件 | |
|--|--|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ローコスト建築の限界を目指すことを希望する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本構想案では、「建設費の節減をはじめ、省エネシステムの導入等により、ライフサイクルコストを抑え」「長持ちする庁舎をめざす」としています。他自治体において採用された先進的な手法を参考にしながら、無駄のない庁舎建設となるよう努めてまいります。 |
| 財源対策の考え方 9件 | |
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・不況の中、財源はどうするのか、安全な区役所も必要だが十分考えてほしい。 ・地方債を発行してまで建替える状況ではない。(4) ・全て積立金で建設すべきだ。(3) ・建設費を抑えること、庁舎だから民間の建物より仕上げのレベルを上げなければならない、という考えは捨てるべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい経済や財政状況を踏まえ、建設等にあたっては、健全な区政運営を阻害することなく、積立金を含め、適切な財政計画のもとで、事業を推進してまいります。 また、建設費の節減、ライフサイクルコストの抑制は、本構想案において、目標として掲げているところです。 なお、本構想案における財源の考え方については、更に説明を加え、わかりやすくなるよう工夫いたします。 |

※ () 数は同意見件数

5. 基本計画に向けて

●ご意見・要望の件数

| 建設候補地の選定 6件 | |
|---|---|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・立地予定地もこれからのようだが、当てはあるのか。 ・建替えの方法は、現在敷地に順次、解体・建設を数次にわたって建設していくスクラップ・アンド・ビルドでの実施は考えられないか。敷地選定、購入、売却の時間的ロスがなくてよいと思う。 ・旧岩淵中学校がよい。 ・旧赤羽台東小学校がよい。 ・旧富士見中学校がよい。 ・王子駅前の一等地は、再開発は必要だと思うが商業エリアとしての計画なら賛成だが、区役所を持っていくことは大反対だ。役所に来る人の利便性よりも、活気ある街づくりを優先に考えてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、具体的な庁舎建設候補地は決まっておりません。建設候補地選定の際には、本構想案の「望ましい立地条件」を踏まえつつ、区民の皆さまのご意見を十分お聞きし、慎重に選定していきたいと考えております。 |
| 今後の課題 1件 | |
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設が税金の無駄遣いとならないよう、基本計画策定前に具体的な根拠を明らかにして区民に民意を諮るべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後策定する基本計画や設計などの各計画段階において、皆さまのご意見をお聞きし、ご意向が十分に反映できるよう努めてまいります。 |
| 基本計画策定時における区民参画 1件 | |
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定時には、検討会とパブリックコメントだけでなく説明会や懇談会など、区民意見を直接聞く場を是非とも設けてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後策定する基本計画や設計などの各計画段階においても、パブリックコメントをはじめとした様々な方法を用い、区民の皆さまのご意見をお聞きする場を設けてまいります。 |

| その他 20件 | |
|---|---|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎なんか建てる必要はない。 ・東京直下型地震、千葉東方沖震源大地震、三浦半島震源大地震等が近い将来必ず起こるであろうと言われている現在、新庁舎建設には絶対に反対だ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の庁舎は、耐震性、老朽化などをはじめ様々な課題を抱えています。これら多くの課題を解消し、区民の防災拠点としても機能する新たな庁舎を建設することが必要であることから、平成22年3月に策定した「庁舎のあり方に関する基本方針」において、「改築を基本的な方向として、必要な対策・検討を行っていくこと」としています。区民の皆さまの安全を確保するため、また北区政の将来のためにも不可欠な事業と考えており、是非、ご理解いただきたいと存じます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・区のホームページから「新庁舎建設基本構想(案)」が見つけない。これほどの重要時であればトップページにしかるべき表示し、わかりやすくすべきだ。 ・資料の量が多く内容も複雑なので、短時間の閲覧程度では十分に理解できない。資料を配布し、手元におけるようにすべきだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・データ容量が多いことから、ホームページ掲載上の工夫はしているところですが、閲覧までに、お時間がかかる結果となってしまい申し訳ございません。皆さまにご覧いただけるよう、より探しやすい、よりわかりやすく、さらに工夫を重ねてまいります。また、資料配布などについても、あわせて検討いたします。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・内容が抽象的であるため、基本計画にまとめてもよかったと思う。 ・素人としては、どんな内容が見えにくいものがあると感じた。 ・この構想からどんな庁舎が導きだされるのか(階数・外観など)を今後、具体的に示してほしい。 ・実際に姿が想像つくような形で何案か示していただき、それについてさらに意見を言えるようにしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想は、新庁舎建設にあたっての基本的な考えやビジョンを示すものであることから、内容が抽象的になりがちであったことは否めません。皆さまが新庁舎を具体的にイメージできるような内容は、今後策定する基本計画や設計の中で、お示しできることと思います。その際は、北区ニュースなどを通じて、区民の皆さまに広くお知らせし、ご意見をお聞きしてまいります。 |

| その他（続き） | |
|---|---|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施で、区民の声は一応聞いたということにならないことを期待する。 ・基本構想はあくまでも一つの意見とし、これに縛られない討議が必要だと思う。 ・この庁舎建替問題を区民が区政について考え、区政参加する良い機会にすべきだと考える。 ・新庁舎建設計画の討論は、立地や機能、財源など区政の課題を様々な角度から学び検討することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も機会をとらえ、区民の皆さまのご意見をお聞きし、参考にしながら、新庁舎建設計画を進めていきたいと考えております。また、検討に際しては、より多くの区民の皆さまの参画を求め、区政に対し関心を寄せていただき、共に考えながら、より良い新庁舎をめざしてまいりたいと思います。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・これから更に高齢化が進む北区は、23区の中でも極めて高齢化率が高い。区民生活が更に厳しくなっている現状をよく考えてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい経済環境等を十分に勘案しつつ、これからの北区、これからの区民生活のために、慎重かつ適切に、新庁舎建設計画を推進してまいりたいと考えております。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設計画にあたっては、「ふるさと北区」の名に恥じない区政を進めてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も区民の皆さまのご意見をお聞きし、参考にしながら新庁舎建設計画を進め、皆さまのご期待に添えるよう努めてまいります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・これまで16年もかかり、これから10年後に庁舎が完成するというのはどうか？何十年も完成しない事業計画を存続させていること自体税金の無駄づかいだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、学校や児童施設、福祉施設等を優先して耐震補強の対応を行ってきたことから、現庁舎についての検討は、今日に至るまで、長い年月を要する結果となってしまいました。庁舎の耐震性、老朽化などは、万が一の事態には区民生活に大きな影響を及ぼすことから、その対応が急がれる一方、多くの経費を要する事業です。しっかりした財政計画のもと、区民の皆さまのご理解をいただきつつ、一日も早い新庁舎建設の実現に向けて、努力してまいります。 |

| その他（続き） | |
|--|---|
| ご意見の要旨 | 区の考え方 |
| <ul style="list-style-type: none"> 耐震強度の低い第四庁舎や別館庁舎を使用し続けることは、区民または職員の安全、安心を脅かす重大な問題だ。 | <ul style="list-style-type: none"> 第四庁舎および別館庁舎の耐震補強は困難であることから、建物の利用をやめ、解体することを前提に、平成24年度は、仮庁舎とする代替施設利活用の検討をすすめてまいります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 区役所は職員が多い、人員カット特に50歳以上を最低今後4年で2割行ってほしい。 35歳以上の職員の年収を2割カット。 区議会議員は20名で十分、議員報酬を2割カット。 庁舎建て替え問題についても良からぬ風聞がある。新たな庁舎は結局、税金を浪費するだけのものではないかという疑念を拭い去ることができない。 | <ul style="list-style-type: none"> 厳しい財政環境の中、職員の定数削減をはじめ、徹底した経営改革に取り組んでいるところです。庁舎建設にあたっては、無駄のない効率的な事業計画と、その裏付けとなる財政計画を策定していくとともに、区民の皆さまに検討過程を公表し、事業の透明性を確保してまいります。 |

◎パブリックコメントによる修正箇所

| No. | 修正箇所 | 修正後 | 修正内容 |
|-----|---|---|-------------------------------------|
| 1 | <p>基本構想（案）本編</p> <p>第2章 新庁舎の基本理念</p> <p>1. 基本理念</p> <p>6ページ下から4行目</p> | <p>そこで、新庁舎建設の基本理念として、人にも環境にもやさしく、区民に親しまれ、誰もが気軽に訪れることができる開かれた場所をめざします。</p> <p><u>また、「北区のシンボル」として、必ずしも建物の大きさや形などの「見た目」を指すのではなく、北区らしさが感じられ、区民が愛着を覚えることのできる庁舎、北区基本構想（資 10 ページ「資料3」）に掲げる将来像「ともにつくり未来につなぐ ときめきのまち 人と水とみどりの美しいふるさと北区」のシンボルとなる庁舎をめざします。</u></p> | <p>「北区のシンボル」の意味について、左記、下線部分を追記。</p> |
| 2 | <p>基本構想（案）本編</p> <p>第4章 事業概要</p> <p>2. 財源対策の考え方</p> <p>23 ページ上から4行目</p> | <p>なお、想定条件、並びに想定条件を基に算出した事業費及び財源は、あくまで現段階の見込みであり、今後変動する可能性があります。</p> <p><u>また、今後の建設候補地選定の際には、積立金や区の財政状況等を踏まえ、再度検討します。</u></p> | <p>財源の考え方について、左記、下線部分を追記。</p> |